アジア・スマートシティ会議2025

開催概要

2025年11月25日-27日
パシフィコ横浜ノース

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

2026.1.28

ASCC Asia Smart City Conference 2025

アジアの循環型社会をテーマに、知見やアイデア、ソリューションが国内外から集う国際会議・展示会

※アジア・スマートシティ会議とは

アジア・スマートシティ会議（Asia Smart City Conference）は、アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等の代表者が一堂に集まり、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う国際会議です。

アジア・スマートシティ会議 2025

■テーマ：環境にやさしい循環型社会に向けて
～サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルの推進、そしてGREEN×EXPO 2027へ～

■日　時：2025年11月25日（火）、26日（水）、27日（木）

■会　場：パシフィコ横浜ノースほか

■主　催：横浜市

■セッション主催：アジア開発銀行／アジア開発銀行研究所、イクレイ日本、国際協力機構（JICA）、CITYNET、
スマートシティ・インスティテュート、世界銀行東京開発ラーニングセンター、
横浜市立大学、横浜市

■後　援：内閣府、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省、CITYNET

■協　賛：DASSAULT SYSTEMES　Tetra Pak® 大切なものを包んでいます　株式会社ヤマグチレッカー YAMAGUCHI WRECKER　横浜銀行　Circloop　T&G TAKE and GIVE NEEDS

■メディアパートナー：Harch

ASCC Asia Smart City Conference 2025

■開催結果

2,000＋ Participants

52 Cities /Organizations

15 Sessions

100＋ Speakers

45 Exhibitors

1000＋ Business exchanges

■参加人数
2,000人超
※国内64％国外36％

■参加都市・機関
52都市・機関

■セッション数
15セッション

■登壇者数
100人超

■ブース出展者数
45者

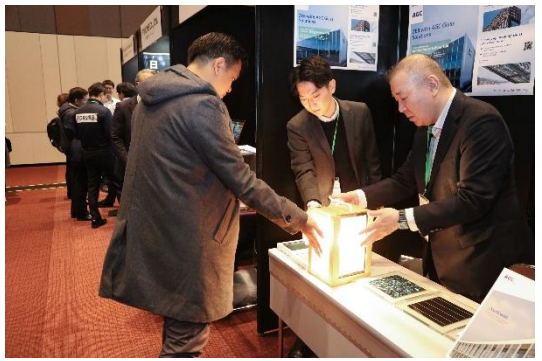
■ビジネス交流数
1,000件超

ASCC Asia Smart City Conference 2025

■52都市・機関が参加

No.	国	都市・機関	No.	国	都市・機関
1	India	Andhra Pradesh Capital Region Development Authority	27	Philippines	Santa Rosa City
2	India	Habitat Forum, India (INHAF)	28	Philippines	STO Tomas City
3	Indonesia	Ministry of National Development Planning	29	Philippines	Tayabas City
4	Indonesia	Makassar City	30	Philippines	LEAGUE OF CITIES OF THE PHILIPPINES
5	Indonesia	Government of South Sulawesi Province	31	Philippines	PHIVIDEC INDUSTRIAL AUTHORITY
6	Korea	Seoul Metropolitan Government	32	Singapore	Centre for Liveable Cities, Ministry of National Development
7	Malaysia	Kuala Lumpur City	33	Sri Lanka	Colombo Municipal Council
8	Mongolia	Hunnu City	34	Taiwan	Taipei City
9	Mongolia	Ulaanbaatar	35	Tajikistan	Dushanbe City
10	Nepal	Lalitpur Metropolitan City	36	Thailand	Bangkok Metropolitan Administration
11	Nepal	Pokhara Metropolitan City	37	Uzbekistan	Authority of Namangan
12	Nepal	National Society for Earthquake Technology-Nepal (NSET)	38	Uzbekistan	Tashkent Conosrt Group LLC
13	Netherlands	Amsterdam City	39	Uzbekistan	Yangiyul City
14	Pakistan	Karachi City	40	Vietnam	Da nang City
15	Philippines	Metropolitan Manila Development Authority	41	-	Asian Development Bank
16	Philippines	Baybay City	42	-	Circle Economy Foundation
17	Philippines	Calamba City	43	-	CityNet Secretariat
18	Philippines	Cavite City	44	-	European Union
19	Philippines	El Salvador City	45	-	ICLEI Europe
20	Philippines	Mandaue City	46	-	Leiden University
21	Philippines	Manila City	47	-	OECD
22	Philippines	Marawi City	48	-	UNDP
23	Philippines	Quezon City	49	-	UNESCAP
24	Philippines	Samal City	50	-	UN-HABITAT
25	Philippines	San Carlos City	51	-	World Bank
26	Philippines	San Fernando　City	52	-	World Economic Forum

■幅広いジャンルの出展者が45者集結



株式会社 R2、株式会社アイエーエナジー、株式会社アグリ王、アジア開発銀行 (ADB)、アズビル金門株式会社、AGC 株式会社、オクト産業株式会社、
海洋都市横浜うみ協議会、鹿島建設株式会社、株式会社カマン、株式会社ガルデリア、株式会社 kitafuku、株式会社京三製作所、Quickry株式会社、
株式会社グーン、株式会社 clivia nobilis/フィリピンココナッツ庁、株式会社建設技研インターナショナル、
国際農業開発基金（IFAD）/IFAD ユース・クラブ・ジャパン（IYCJ）、Circularise Japan 株式会社、株式会社Circloop、株式会社Sansei、
JFE エンジニアリング株式会社、JICA 横浜、世界銀行東京開発ラーニングセンター、全日本空輸株式会社、株式会社TIMEWELL、株式会社竹中工務店、
東邦レオ株式会社、日本原料株式会社、株式会社BIOTECHWORKS-H2、原貿易株式会社、Hundredths株式会社、ピープルポート株式会社、ピールラボ、
日之出産業株式会社、株式会社ファインテック、株式会社フォーラムエイト、株式会社水と古民家、株式会社村田製作所、横浜ウォーター株式会社、
株式会社横浜工作所、株式会社横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）、LOOVIC株式会社、レコテック株式会社、横浜市

■プログラム概要

GREEN STAGE(G2) 政策対話

世界の都市、国際・政府機関・都市ネットワーク、企業、大学の代表者が集結し、循環型社会に向けた、世界の潮流や事例の共有、都市リーダーや国際機関のコミットメントを通じ、アジアのサーキュラー都市推進に向けたムーブメントを起こします。

オープニングセッション(11/25)

- アジアのサーキュラー都市推進に向けた都市リーダーからの発表
- 国際・政府機関代表者による基調講演

プレナリーセッション(11/25)

- アジア開発銀行、世界銀行、アジア太平洋都市間協力ネットワーク（CITYNET）による事例等発表

都市セッション(11/26)

- グリーン社会実現に向けた、都市、企業、大学等の代表者による、アイデア提案や具体アクションの発表

クロージングセッション(11/26)

- 世界の都市リーダー、国際機関の代表者によるアジアのサーキュラー推進に向けたアクションの提言

BLUE STAGE（G3,G4） ビジネス対話

産学官から第一線の有識者・実務者を招き、循環経済をはじめ、脱炭素や都市課題解決に関する幅広いアイデア・ソリューションを交換し、国境や業種を越えた化学反応を起こします。

ビジネスセッション(11/26)

- 民間セクターの代表者による循環経済・脱炭素・都市課題解決に寄与する取組事例等の発表

都市×企業ピッチ(11/26)

- 都市と企業の代表者による、都市課題にかかる、課題や政策、及び、技術やソリューションの相互ピッチ

展示ブース(11/26)

- 企業による循環経済・脱炭素・都市課題解決にかかる技術展示と、横浜市・国際機関等による取組展示

ネットワーキング(11/26)

- セッション、展示、面談テーブルが一体となったスペースで、参加者、登壇者、出展者による交流

GREEN STAGE

DAY1　11月25日(火)

❶ 9:00-10:30
Opening Session
アジアにおけるサーキュラー都市の推進①
アジアのサーキュラー都市推進に向けた都市リーダーや国際機関等代表者による基調講演

❷ 11:00-12:30
持続可能な未来に向けたサーキュラー都市
アジア各国の都市代表者・専門家による議論

❸ 13:45-15:15
アジアにおける循環型経済の推進に向けた都市廃棄物問題への対応策
アジア各国の都市代表者・専門家がアジア途上国における都市廃棄物の削減に資する対応策について議論

❹ 15:30-17:00
シティネット分科会セミナー2025
気候変動時代の都市政策とレジリエンス
都市リーダーや国際機関等代表者がアジアのサーキュラー都市推進に向けた可能性を議論

DAY2　11月26日(水)

❺ 9:00-10:15
市内および海外大学の学生による都市の未来に向けた共同提案
大学生とアジア都市の実務者が、持続可能な都市づくりを議論

❻ 10:30-12:00
アジアの循環型社会の形成に向けた共創
JICA・都市・企業等が、循環型社会の形成にむけた公民連携による解決手法について議論

❼ 13:00-13:30
横浜市資源循環推進プラットフォームがつなぐ企業連携と循環の可能性
静脈・動脈産業の先進事例を通じてサーキュラーエコノミーに向けた官民や企業間連携の可能性を探求

❽ 13:45-14:30
都市の生活を支える基盤の脱炭素化
都市の生活基盤を支える企業から、横浜を舞台に取り組む事例を発信するとともに、アジアでも展開する先端技術や知見を共有

❾ 14:45-15:35
GREEN×EXPO 2027で発信する循環型社会
11月4日に開幕500日前を迎えたEXPOの最新情報や、EXPO会場での循環型社会に関する発信、来場者との関わりについて共有

❿ 16:00-17:30
Closing Session
アジアにおけるサーキュラー都市の推進②
都市リーダーや国際機関等代表者がアジアのサーキュラー都市推進に向けた可能性を議論

ASCC Asia Smart City Conference 2025

BLUE STAGE

DAY2　11月26日(水)

9:00

❶ 9:00-9:50

海洋から考える脱炭素社会の実現
～浮体式洋上風力発電の導入拡大に関する動向～

海洋を起点とした脱炭素社会に向けて洋上風力発電をテーマに最新技術動向や政策などを多角的に議論

10:00

❷ 10:00-10:50

AIとエネルギーの未来を支える半導体技術

半導体関連産業が集う横浜から、AIとエネルギーの未来を支える半導体の最新の研究開発動向や製造工程における脱炭素化に向けた最先端の取組について発信します。

11:00

❸ 11:00-12:00

都市と企業の代表者による、都市課題と技術ソリューションの相互ピッチ①

来日する海外都市から急激な都市化や気候変動に伴い発生している都市課題を共有し、それに対応する日本企業のソリューションやアイディア等のシーズを提示する。

12:00

12:00-12:50

Networking Lunch

13:00

❹ 13:00-14:30

都市と企業の代表者による、都市課題と技術ソリューションの相互ピッチ②

来日する海外都市から急激な都市化や気候変動に伴い発生している都市課題を共有し、それに対応する日本企業のソリューションやアイディア等のシーズを提示する。

14:00

14:30

❺ 14:45-15:30

環境共生・循環経済と市民のウェルビーイングとの両立

都市の環境共生と循環経済がいかに市民のウェルビーイングと両立し得るかを議論

15:00

15:30

❶

❶

❷

❷

❸

❸

❹

❹

❺

❺

ASCC Asia Smart City Conference 2025

9

サステナブルな国際会議

- エネルギー使用に伴う CO2排出量の**実質ゼロ**を達成
- 施設で排出される廃棄物の**100%**リサイクルを目指し、現在、廃棄物全体の**約90%**のリサイクルを実現

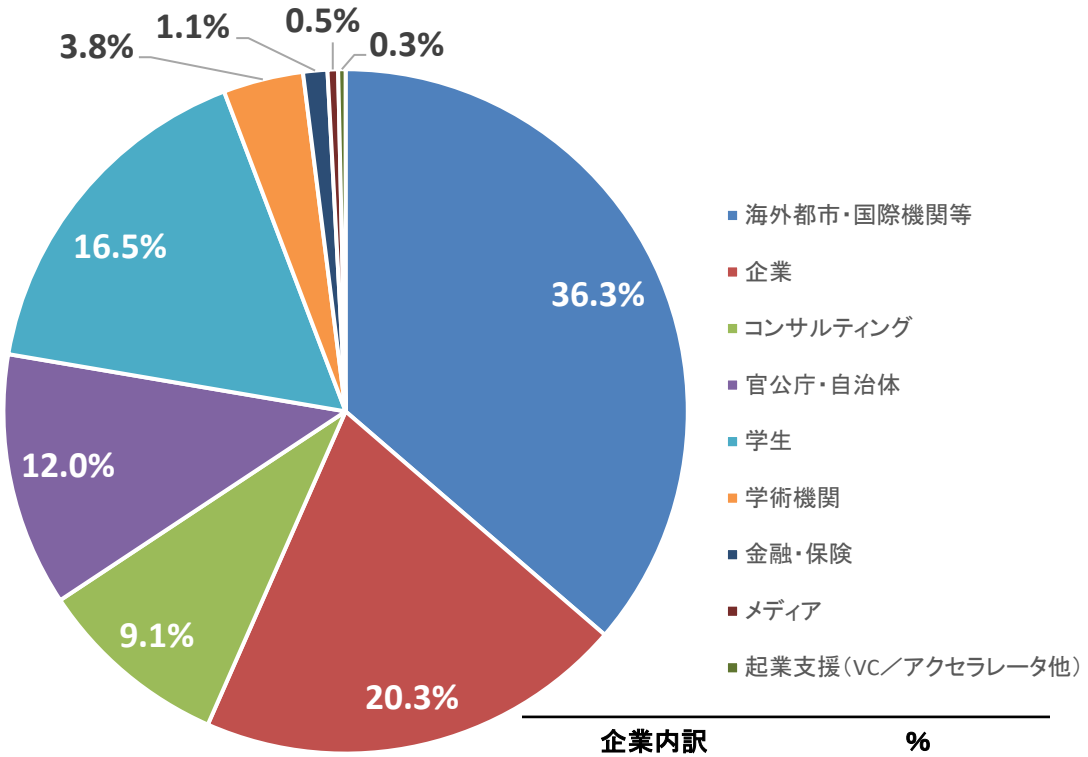
- ボトルドウォーターの容器は、リサイクル可能なアルミ付きの紙容器
- 植物由来プラスチックキャップを使用。再生可能資源比率を高め脱炭素を実現

- コーヒーの提供にリユーザブルカップを使用
- 廃棄物やCO2排出量の削減を実現

- ロスフラワー、廃棄段ボールなどの身近な廃材を用いた、サステナブルな未来への小さな一歩を形にした装飾

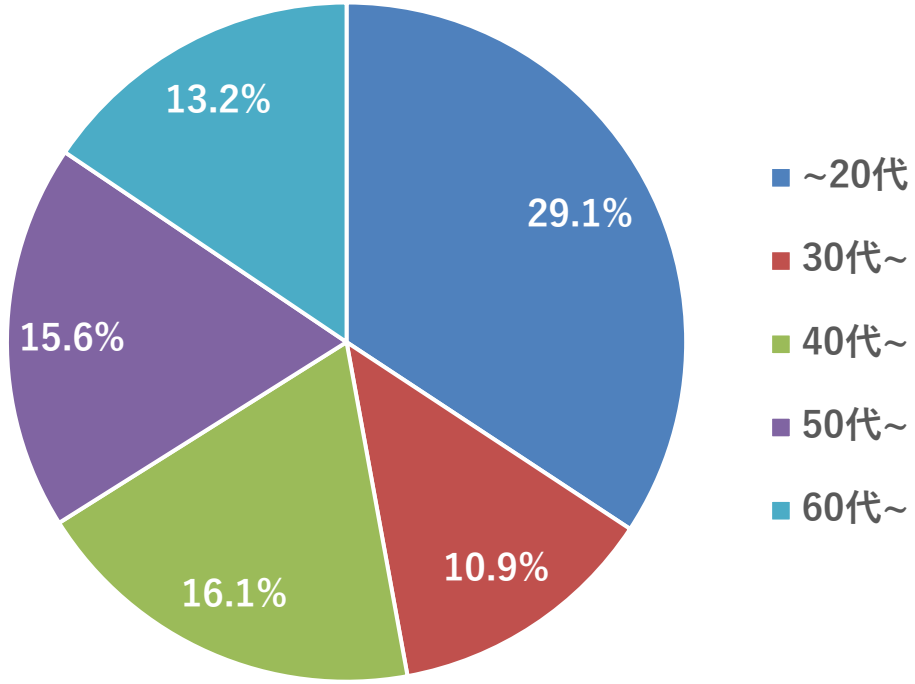
■参加者の属性

業種



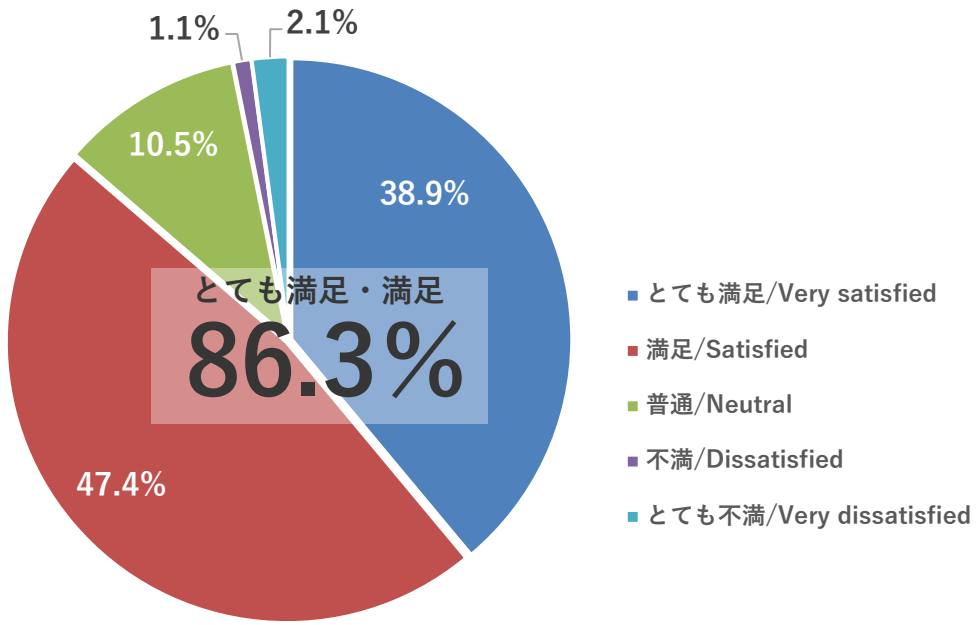
企業内訳	%
メーカー	30.7
サービス業	24.1
建設	19.0
ソフトウェア・情報通信	12.5
商社	6.8
卸売・小売	2.3
運輸	4.5

年代



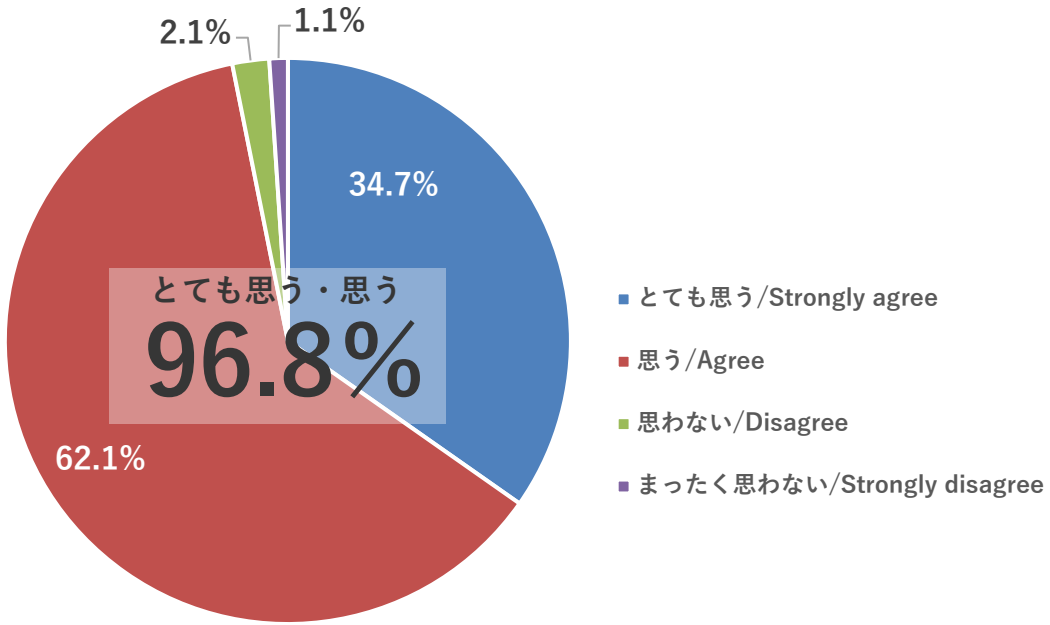
■参加者の声

会議の満足度



【理由】
- サスティナブルな取り組みをしている横浜企業の紹介がとてもよかったし、今後一緒に事業をできそうな事業者が見つかった。
- 循環型社会に向けて、今の社会や企業がどんな取り組みをしているのかほとんど知らない状態だったので、良い機会になった。
- 多岐にわたるセッションの一つ一つが興味深い掘り下げをしていて、非常に有意義だった。
- 参加しやすい（アクセス、入場無料、雰囲気）のに加えて、内容も充実していてよかった。
- 各セッションもさることながら、ブース出展についても大変参考になった。
- ASSCは非常に有意義で、参加していて大変興味深く感じた。世界各国の多様な組織が、対面またはオンラインで一堂に会する場が設けられている点に、強い魅力を感じる。

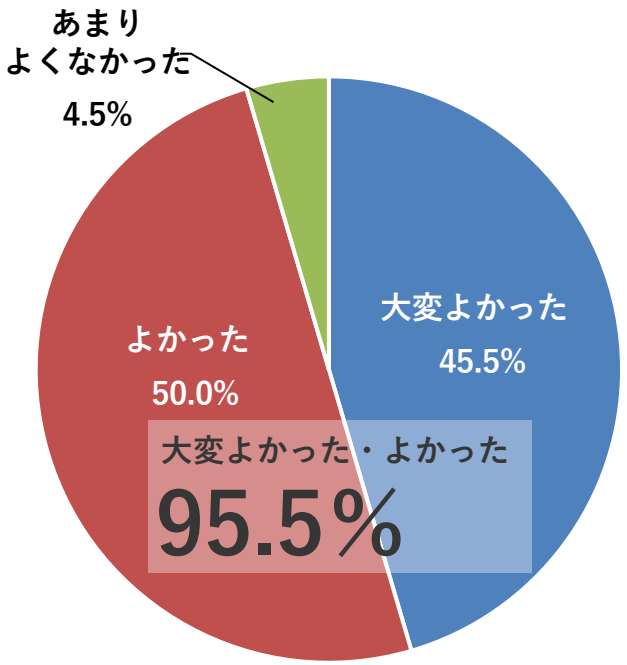
ビジネスの発展につながるきっかけになったか



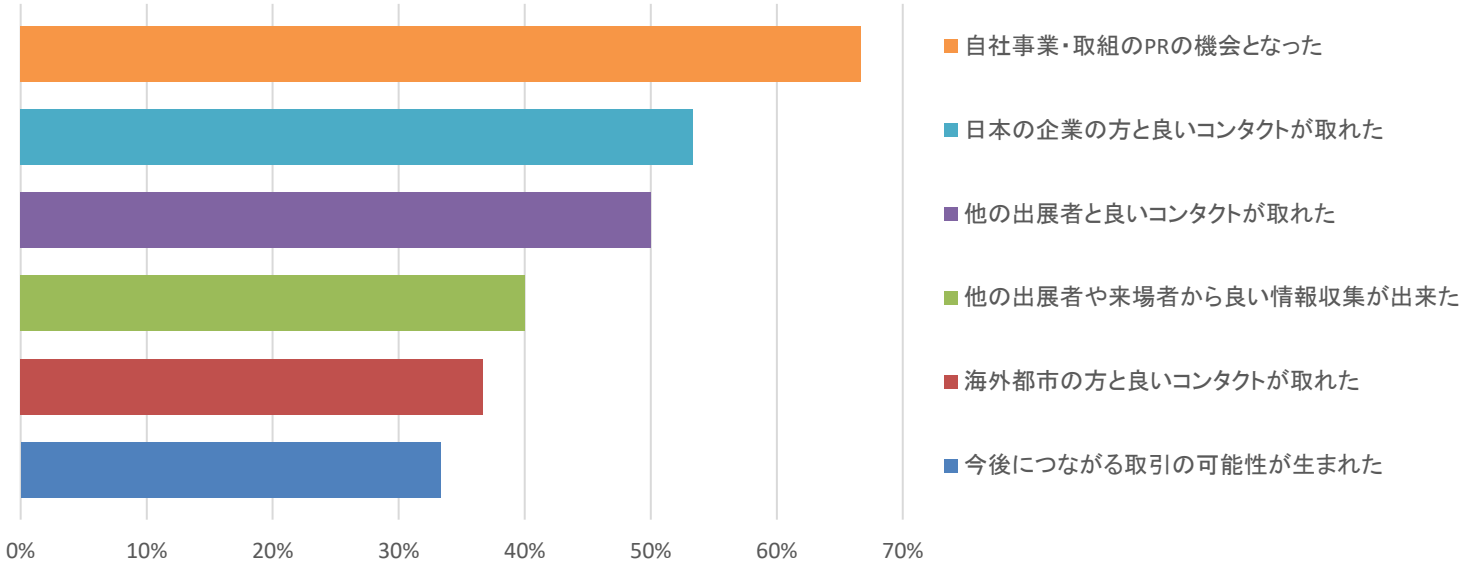
【理由】
- サスティナブルなサービスを提供している横浜の企業と繋がりたいと思っていて、複数社見つかった。
- フィリピンの多くの都市の方と直接会って話をして、先方の課題を知り、解決策を提案でき、今後の商談に繋がった。
- 様々な業種のブースが出展しており、新たなソリューションや取組を学ぶ良い機会になった。
- 多くの海外からの参加者と意見交換を行い、スマートシティやサステナビリティに関する専門家の知見を学ぶ貴重な機会を得ることができた。
- 展示ブースは非常に興味深く、主催者による事前のミーティング調整により、都市との協力の可能性がある企業と少人数で集中的な意見交換を行うことができた。このような積極的な取り組みは、非常に効果的で有益。

■ブース出展者の声

会議の満足度



会議の良かった点



出展者の声

- アジア各国の都市関係者や企業と直接対話でき、最新の課題や動向を把握できた。
- 海外都市の担当者や企業とのネットワークを構築でき、今後の協業に向けた具体的な話も進められた。
- 自社の取り組みを効果的に発信できる場だった。
- 他の出展者とのネットワーキングが構築できた
- 学生にも自社活動についてのPRが出来た。

■広報・報道

まとめ

1. **ASCCウェブサイト：7.5万ビュー**
   https://ascc.city.yokohama.lg.jp/
2. **グローバルウェブサイト：210ビュー、LinkedIn投稿 【897フォロワー】**
   https://businessyokohama.com/blog/2025/11/26/ascc2025/
3. **国際機関等SNS：37万フォロワーに新規リーチ**（CLC、EU、UNDP、Circle Economy等）
4. **国際機関等ニュースレター：8万人に配信**（ICLEI, Circle Economy等）
5. **国内新聞報道：5紙9記事、販売部数25万部**（朝日、読売、産経、日経、環境）
6. **各SNS**（横浜市国際局FB、Y-PORT　FB・LinkedIn）

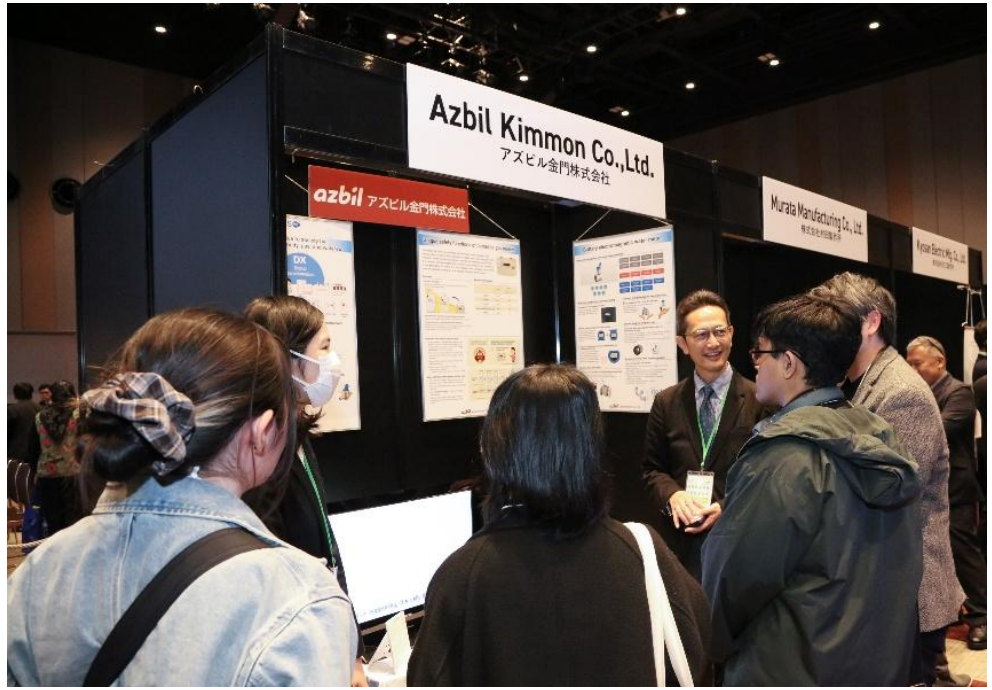
   横浜市国際局Facebook：https://www.facebook.com/city.yokohama.kokusai/

   Y-PORT　Facebook：https://www.facebook.com/AsiaSmartCityAlliance/

   Y-PORT　LinkedIn：https://www.linkedin.com/company/asiasmartcityalliance
7. **主なオンラインメディア（ほか４件）**

   12月　3日 IDEAS FOR GOOD：X投稿**【13,612フォロワー】**、フェイスブック投稿**【11,768フォロワー】**
   https://ideasforgood.jp/2025/12/03/asian-circular-cities-declaration/
   11月27日 Circular Yokohama
   https://circular.yokohama/en/2025/11/27/asian_circular_cities_declaration/

ASCC Asia Smart City Conference 2025


Azbil Kimmon Co.,Ltd.
アズビル金門株式会社
azbil アズビル金門株式会社
Murata Manufacturing Co., Ltd.

GREEN×EXPO 2027

Have a great networking !
Thank you for participating in the Asia Smart City Conference